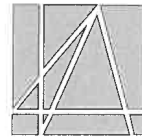


清流



No. 42

●発行 社会福祉法人 かなな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

「感染症対策専門家派遣事業」(8/19)

かななの里副施設長 島野健太郎

この度、群馬県の事業として、障害者支援施設への感染症対策専門家派遣事業が当施設で行われました。

〈公立藤岡総合病院 感染症認定看護師より〉

新型コロナウイルスは発症前から他人へ感染するため、広がりやすく、感染成立の輪という図を見せて頂きました。その輪のどこかを遮断することで、感染しないでいられるそうです。成立を防ぐには、改めて、手洗い、消毒の重要性を感じました。

人は無意識に顔を、一時間の間に目は三回、口は四回、鼻は三回触っていて、接触感染になってしまいう原因となるそうです。手のひらの細菌の数が、手洗いで20〜30分の1に減ったことが、センサーでわかりました。次にクリームを塗って手洗い後、特殊な光を当てると洗い残したところが光り、よく洗ったつもりでも洗い残し(手の下、爪の周囲等)がありました。



〈くすの木病院 感染症認定看護師より〉

医療用ガウンの着方と脱ぎ方の実践をしていただきました。特に注意することとして、脱いだ後すぐに手指をアルコール消毒をすることで、感染の伝播をここで一度遮断できると言われていました。やはり実際に医療の現場で対応に当たっているだけあって実践的なアドバイスでした。そして改めて、マスクや手袋の外し方などで、気を付けているべきポイント等も教えていただきました。



また社員食堂等で複数で食事をする際は、食べながら話すのではなく、食べ終わって、マスクをつけてからおしゃべりをするので、心飛沫感染は防げるので、心がけることが大事です。

〈質疑応答として〉

感染者が発生した時の会議室のレイアウトを見ていただきました。頭の位置がずらされていて、飛沫を浴びないようになっているのですね、いいとのことでした。行動障害の人たちが感染した場合を尋ねると、まだそういった状況になっていないので何とも言えないが施設と連携してやっていきたい旨を話されていました。ガウンと防護服の使い分けとして動きの激しい人の介助の際は防護服、一般的な介助の際は、ガウンのほうがいいと脱しやすしいし、暑苦しくなくていいとのことでした。感染者が出た時、クラスタが発生した時、専門家や応援を要請したい場合保健福祉事務所とやり取りが重要となり、同席していただいた藤岡保健福祉事務所の方とも、連携の確認をすることもできました。

〈施設の中を巡回(ラウンド)していただく〉

どうしても会議室やプレイルームを使用しないで看たい場合や、退院して通常の居室側で過ごしてもらいながら見ていきたい場合、男子でいえば東側の居室三部屋、女子でいえば、東側の居室二部屋で過ごしてもらいたい、トイレ側の手すりもステーション側の手すりをロープで結んだり、パーティション等で仕切って行ってもいいと、アドバイスを受けました。

最後に藤岡総合病院感染症認定看護師より、「いつでも相談してください。病院でいいので、施設の実情にできるだけあったやり方を提案していきたいと思っております。」と心強い言葉をいただきました。

今回来ていただいたことで、改めて手洗いの大切さを感じました。専門用語も出てきましたが、それを意識することで、感染の伝播を遮断できることがわかりました。いろいろなことに対して真摯に答えていただけて、正しく恐れることが大事でした。何より、この施設を理解しようとしていただいている姿勢が感じられました。普段からお世話になってる公立藤岡総合病院、くすの木病院、保健福祉事務所との連携が以前よりも取りやすくなったのではと思います。



音楽クラブ



盆踊り



開会式

7月29日(水)
午前11時55分 お昼
午後1時00分 かな祭

お昼
明きそば
からあげ
ポテト
フランクフルト
おにぎり
ジュース

盆踊り
八木節
いもほだな
ハイウェイおしさん
縁起物
縁日があるぞ
WAになって踊ろう
楽屋音頭

アマビエ動画
一巻くし
コロナウイルス講座
音楽クラブ
パブリカ
さんぽ(手さいど)

出し物

第22回かな祭
各事業所で開催
7/29



最後にソフトクリーム



コロナウイルスについて



盆踊り



だがしやさん



人形すくい



昼食

《マロニエ》
8/4



たこ焼き



ゆかたを着ました



かき氷



すいかわり

《ポプラ》
8/4



もくせい納涼会
職業指導員 萩原英幸
新型コロナウイルスの影響で行事の中止が続く中、感染予防策を図りながら、もくせいの納涼会を八月二十一日に行いました。今年度初めての行事とあって、利用者さんは開催前からとても楽しみにしていました。納涼会は、お昼の特別弁当を頂きながら始まりました。ゲーム広場では「的あて」「魚つり」「射的」で景品をゲットして皆さん大盛り上がり。また職員手作りのチョコバナナやベビーカーを食べてお腹も満たされた様です。久しぶりに大笑いする声もくせいの内に響き渡り、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

《もくせい》
8/21

《あじさい》

7/21



うなぎを食べました



カラオケ

《花火大会》

8/29

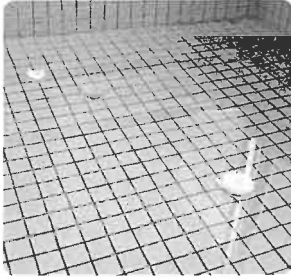
かななの里



中庭で夜 7:30~

《重陽の節句》

9/9



菊の花をお風呂に
コロナがなくなりますように

..... かななの里 令和2年4月~9月までの主なできごと

- 4月
 - 開所記念日、辞令交付式(1日)
 - しのめ信金絵画展は中止
 - ケース会議始まる(7日)
 - 保護者会中止
- 5月
 - 2~6日の帰省中止、業者による清掃中止
 - 遊びの日(5日)
 - 簡易専用水道検査(22日)
 - 第1回理事会(27日)
 - 第三者委員会(27日)
- 6月
 - 市障害者スポーツ大会中止
 - 春の健診(4日)
 - 春の特定健診(8日~22日)
 - 第1回評議員会(12日)
 - 地下タンク検査(17日)
 - 扇風機取付工事(18日)
 - 貯水槽清掃(19日)
 - 面会、日中一時短期入所、一部スタート
 - ボイラー点検
- 7月
 - 県より消毒液寄贈(7日)
 - 避難訓練(DVD観賞、8日)
 - 保護者会(会場 ポプラ)
 - 第22回かなな祭(29日)
 - 男性一名退所
- 8月
 - 消防設備点検(6日)
 - 夏季帰省(12~14日)
 - バルサン消毒(13日)
 - 電気点検(14日)
 - 育英短大生実習(17~11日間)
 - 県より感染症対策事業として感染症専門看護師派遣される(19日)
- 9月
 - 男性一人入所
 - チャレンジウィーク
 - 福祉パレード
 - ナイスハートフェア
 - 育英短大生実習(4日~11日間)
 - 利用者のグループ外出(研修)

藤岡市福祉支援センター

《生活介護事業》

(生活班・作業班)

生活介護生活班のみなさんは、月2回の音楽療法を楽しみにされています。今年度より新しい先生を迎えましたが、コロナ禍のため7月からの再開となりました。先生のピアノと呼びかけて元気に挨拶、職員も入って音に合わせてみなさんの身体を解していきます。先生方のピアノやサクソスに合せて笑顔で太鼓を叩いたり真剣な表情でチャイムを鳴らしたりと、個々の力が引き出されていく楽しい時間です。

外出等も制限が多い中ですが、今後も楽しく安全に活動して頂けるよう努めてまいります。

(記：生活支援員 町田悦子)



《就労継続支援B型事業》

《就労継続支援B型事業》

(就労班・作業班)

就労支援B型事業所では就労班6名作業班14名の利用者さんが所属し各々責任感を持って受託作業に取り組み工賃アップを目指し日々頑張っています。

作業班では毎週水曜日に挨拶の練習とし、新聞記事読み合わせの他、約30種類ある質問カードを用意し、くじ引きのように1枚引き書いてある質問に答えるゲームも行っています。時事ニュースはコロナ関連が多く感染を防ぐために人との距離を取り、手洗いうる他に何ができるか意見をだし合うコミュニケーションの場として、緊張感を持って取り組んでいます。

(記：生活支援員 鳥羽衣代)



《新型コロナウイルス感染症予防対応》

- 4月
 - 就労継続支援B型新利用者1名通所開始(13日)
 - 新年度個別支援計画策定実施
- 6月
 - 夏期利用者賞与支給(15日)
- 7月
 - 音楽療法指導再会(9日)
 - サービス管理責任者部会(10日)
 - もくせい施設活動体験1名(27~31日)
- 8月
 - 就労継続支援B型新利用者1名通所開始(3日)
 - もくせい納涼会(21日)
 - 相談支援事業者実習者施設体験(24~26日)
- 9月
 - 藤岡特別支援学校生1名実習(14~18日)
 - 藤岡特別支援学校生1名体験(23日)
- もくせい新型コロナウイルス感染症予防対応
 - 施設通所者への検温開始(2月より毎日実施)
 - 利用者への発熱等体調不良時における通所基準の告知(2月)
 - 施設利用時における手指のエタノール消毒(以前より実施)
 - 施設来訪者への注意喚起文書掲示(2月)
 - 外出行事等の自粛(3月)
 - 次亜塩素酸水の配布(藤岡市)に伴う施設・備品への塗布(4月)
 - 通所時における利用者への手指消毒等の助言(4月より毎日実施)
 - 利用者へのマスク配布(4月・6月、国や市からの支給)
 - 長期連休時における利用者行動記録の作成協力(5月・8月)
 - 抗ウイルス対策として扉の取っ手等へ銅繊維シート貼付け(6月)
 - 手指消毒用エタノール20リットルの配布(7月、県)
 - ソーシャルディスタンス対応として作業時における指導室の利用(6月)

マロニエ

今年度は新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントが中止、延期となりました。その様な中でも、利用者の方が楽しめる様なイベントの実施や室内で楽しめる余暇の提供を行いました。毎年行っているカレー作りは、感染予防をしつかりとし、行いました。バーベキューの変わりは、ドミノピザを食べました。室内余暇では、上毛カルタや、貼り絵でのカレンダー作りを行いました。一日でも早く、コロナウイルスが終息してくれることを願います。



マロニエ 令和2年4月～9月の主なできごと

- 4月 開所記念日 (2日)
- カレー作り (29日)
- 5月 バーベキュー代替え昼食 (ドミノピザ) (27日)
- 7月 歯科検診 (2日)
- 避難訓練 (7日)
- 保護者会総会 (28日)
- 8月 マロニエ納涼祭 (4日)

ポプラ

現在、コロナ禍における新しい生活様式が続く中、様々な行事やイベントが中止や変更になりました。利用者さんが楽しみにしている行事を中止にしたいくない、という思いから形や方法を変えて行事やイベントの代わりとなるものを考えました。

人気の行事・バーベキューの時は、テイクアウトメニューでお肉をいっぱい食べようということになり「いきなりステーキ」のテイクアウトでステーキを食べました。「ステーキを食べる」という言葉にインパクトがあったようです。予想以上に皆喜んで食事を楽しむことができました。またその日は施設内でウオーケラリーをしたり、自分で好きなお菓子を選ぶことができます。

「ポプラのお菓子屋さん」もしました。例年行っているバーベキュー行事にも引けを取らない楽しい一日となりました。祝日には施設内で楽しめることを考え、カレー作りやおやつを作り、ウオーケラリー、DVDエクササイズ、映画会なども行っています。かなな会納涼祭も今年度は各事業所で行いましたが、お祭りの雰囲気を出すために食事メニューはいつもの納涼祭屋台メニューの焼きそば、フランクフルト、おにぎり、唐揚げ、ポテト、かき氷を用意しました。盆踊りのほかにスイカ割り、たこ焼きづくりを行い、一日、ポプラ流納涼祭を楽しみました。

ポプラ 令和2年4月～9月の主なできごと

- 4月 開所記念日 (1日)
- 焼きそば作り (29日)
- 5月 お楽しみランチ・ココス (28日)
- 6月 お楽しみランチ第2弾、いきなりステーキ (25日)
- 7月 歯科検診 (2日)
- 避難訓練 (13日)
- カレー作り (23日)
- 8月 ポプラ納涼祭 (4日)
- お楽しみランチ第3弾、モスバーガー (27日)



沢山の善意 ありがとうございます

(令和2年4月～9月) (順不同・敬称略)

- 厚生労働省 群馬県 藤岡市
- 桜井智子 堺原千賀子
- 折茂良一 後藤あゆみ
- 荻野節子 梅山邦子
- 佐藤奈々子 五十嵐邦子
- 藤岡青年会議所
- 小暮得江 高橋きみ江
- 村田茂行 荻野元彦
- 吉村やす代 須貝靖子
- 柴山秀子

藤岡市園芸協会果樹部会
柳井靖 インターゾーン(株)
加部京一郎

かななの里 令和2年4月～9月

事故報告

- 計20件
- 内訳 薬の誤薬・落葉等 7
- 器物損壊 6
- 転倒 3
- 離園 1
- 連絡不足 1
- その他 2



編集(後)記

今なお収束の見えない新型コロナウイルス感染症が続く中、これからの生き方を問う16のメッセージが、この10月1日に一冊の本として発信されました。「みんなで賢い行動を粘り強く続け、自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守りましょう」 (山中伸弥氏)

百歳以上が全国で八万人以上とか、長い人生、みんなで何とか乗り切らなければ。(S.N)